



— ONWARD —

Press

第76期 中間株主通信

2022.3.1—2022.8.31

株式会社 オンワードホールディングス

証券コード：8016

株主の皆さまへ



株式会社オンワードホールディングス
代表取締役社長
保元 道宣

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第76期第2四半期連結累計期間(2022年3月1日から2022年8月31日まで)の事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

当社は、2021年4月に策定したオンワードグループ中長期経営ビジョン『ONWARD VISION 2030』において定めた、「ヒトと地球に潤いと彩りを」という新しいミッションステートメントの下、「社員の多様な個性を生かしたお客さま中心の経営」を日々心掛け、「お客さまにとっての価値をお客さま自身と共創できる企業」への進化を目指し、グループ社員一丸となって努力を続けております。

当第2四半期連結累計期間は、アパレル関連事業では「クリック&トライ」サービスを導入したOMO型店舗での販売が好調に推移したことや、主力のブランド事業が復調したことなどから、売上が拡大いたしました。また、2019年度から進めているグローバル事業構造改革の成果として、売上総利益率が当初の予想を上回る一方で、販管費率はさらに改善いたしました。ライフスタイル関連事業では、各主要会社において増収増益となり、堅調な実績を残すことができました。この結果、連結合計の営業利益、経常利益、四半期純利益のすべてにおいて、4期ぶりの黒字転換を達成いたしました。

今後も株主の皆さまのご期待にお応えできるよう、精一杯努めてまいりますので、当社グループの経営に引き続きのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2022年10月

営業概況

当第2四半期連結累計期間(2022年3月1日から2022年8月31日まで)の業績概況

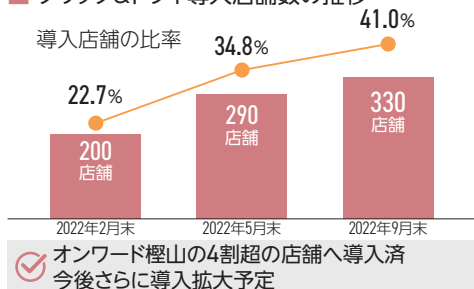
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、まん延防止等重点措置の解除により、緩やかな回復の兆しがみられたものの、新型コロナウイルス感染者数の再拡大や、ロシア・ウクライナ情勢に起因するエネルギー資源、原材料などの高騰、急激な円安の進行を背景に、景気は依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、海外生産、国際物流、店舗や催事への集客などにコロナ禍の影響が残りましたが、「クリック&トライ^{※1}」サービスを導入したOMO^{※2}型店舗(既存)の売上が、好調に推移^{※3}したことや、オーダーメイドも含めた顧客本位の商品施策で主力ブランド事業が復調したことなどから、中核事業会社である株式会社オンワード樫山を中心に売上が拡大しました。

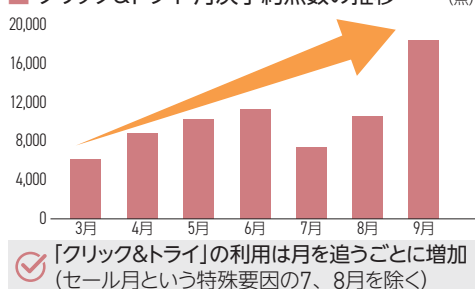
また、値引販売の抑制、在庫一元管理の徹底を継続して実行したことに加え、2019年度から進めているグローバル事業構造改革の成果も表れ、売上総利益率、販管費率が改善し、営業利益、経常利益、四半期純利益のすべてにおいて黒字化を達成しました。

OMO戦略の推進状況

■ クリック&トライ導入店舗数の推移



■ クリック&トライ 月次予約点数の推移



以上の結果、連結売上高は821億66百万円(前年同期比1.7%増)、連結営業利益は1億93百万円(前年同期は営業損失32億94百万円)、連結経常利益は6億54百万円(前年同期は経常損失28億62百万円)、四半期純利益は4億76百万円(前年同期比93.6%減)となりました。なお、四半期純利益につきましては、前年同期に不動産売却益の計上という特殊要因があり、その反動から減益となりました。

※1 スマートフォンやパソコンを使い、株式会社オンワード樫山のほぼすべての商品を、ブランドの垣根を越えて店舗に取り寄せ、試着・購入が可能な取り寄せサービスのこと。

※2 「Online Merges with Offline」の略で、実店舗とオンラインのサービスを組み合わせた形態の店舗のこと。

※3 「クリック&トライ」サービスを導入した店舗の売上は、2019年度対比で、非導入店舗を21ポイント上回る95.9%に回復している。

セグメント別概況

〔アパレル関連事業〕国内事業は、株式会社オンワード樫山において、「クリック&トライ」サービスを導入したOMO型店舗の売上が拡大し、百貨店を中心に『23区』、『五大陸』などの主力ブランドの売上が復調し、新規ブランドの『UNFILO(アンフィロ)』がヒット商品を創出するなど売上が好調に推移しました。また、オーダーメイドブランド『KASHIYAMA』を展開する株式会社オンワード

営業概況

パーソナルスタイルでは、販売促進策が功を奏して売上が大幅に増加するなど、国内主要アパレル会社の売上が増加し、国内アパレル事業においては、増収、黒字転換となりました。

海外事業は、グローバル事業構造改革の一環としてイタリア事業から撤退した影響から、減収となりました。

以上の結果、アパレル関連事業は増収し、営業赤字幅は大幅に縮小しました。

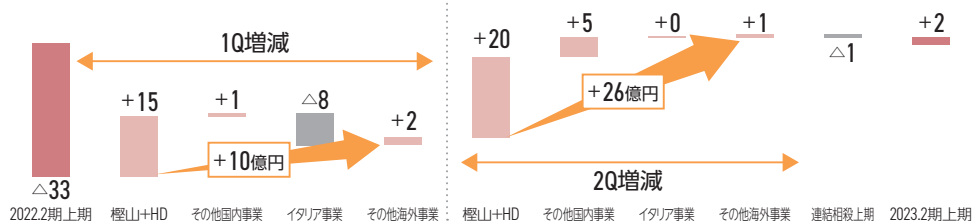
〔ライフスタイル関連事業〕ウェルネス事業を展開するチャコット株式会社は、主力のバレエ、フィットネス用品において、コラボ商品や新商品が好調に推移し、売上が順調に拡大しました。ビューティ・コスメ事業を展開する株式会社KOKOBUYは、主力のヘアワックスに加え、季節商品のドライシャンプーやコスメの新商品も投入し、売上の高成長が継続しました。カタログギフト事業の株式会社大和や、ペット・ホームライフ事業の株式会社クリエイティブヨーコも引き続き売上が拡大し、ライフスタイル関連事業の各主要会社において増収増益となりました。

以上の結果、ライフスタイル関連事業は増収増益となりました。

四半期別営業利益の状況

(億円)

営業損益の改善幅が1Qから2Qにかけて拡大



通期の業績予想

通期の連結業績予想については、各種営業施策の継続によって堅調な推移が見込まれますが、今後気温の低下に伴ってコロナ感染者数が再拡大する懸念がある上に、為替相場や原材料価格の動向なども不透明であることから、第3四半期以降の売上高と営業利益については、期初の業績予想を据え置いています。また、今後株式相場が変動した場合の投資有価証券評価損の発生などを想定して、特別損失の増加を見込んでいます。以上を踏まえて、通期の連結売上高および営業利益、経常利益、当期純利益の全利益段階において、期初の業績予想を上方修正いたします。

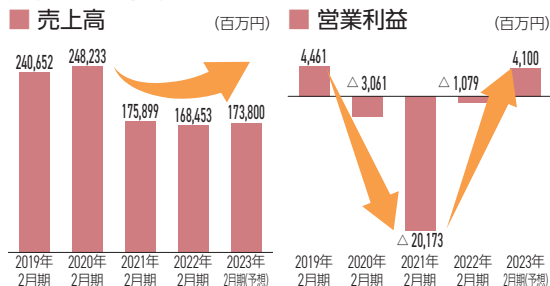
連結業績予想

(百万円)

	2022年2月期 実績 (A)	2023年2月期 今回予想 (2022年9月発表) (B)	増減率 (B/A)
売上高	168,453	173,800	+3.2%
売上総利益	87,612	94,000	+7.3%
販管費	88,691	89,900	+1.4%
営業利益	△1,079	4,100	↑
経常利益	507	4,300	748.1%
当期純利益	8,566	2,200	△74.3%
EBITDA*	3,915	9,080	+131.9%

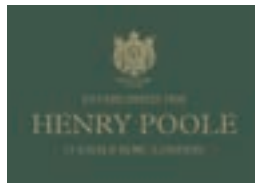
※EBITDA(営業利益+減価償却費およびのれん償却費)

連結業績の推移



アパレル

オーダーメイドブランド『KASHIYAMA』 限定店舗で『HENRY POOLE』の取り扱いを開始。



株式会社オンワードパーソナルスタイルは、オーダーメイドブランド『KASHIYAMA (カシヤマ)』において、当社グループが展開する『HENRY POOLE (ヘンリープール)』を限定8店舗で、10月1日(土)より取り扱い・販売をスタートしました。

『HENRY POOLE』は、株式会社オンワード樫山が2014年2月より国内での取り扱いを開始したブランドで、“サヴィル・ロウで現存する最古のテーラーブランド”として広く知られています。

昨今、コロナ禍により働き方が大きく変化したことを受け、スーツの選び方や着用シーンも変化しています。当社グループが行ったミドル層向けブランドの顧客分析^{※1}では、高価格帯のスーツ購入率が増加し、スーツの購入者数はコロナ禍前までの回復にはいたっていないものの、1人あたりの平均購入単価は1万円弱上がっていることが分かりました。コロナ禍でスーツの着用シーンが限られるようになった反面、少ないスーツ着用シーンのために、高品質なスーツを購入する方が増えていることが伺えます。

このような背景を受け、紳士服の永遠のスタンダードを確立し、伝統的な仕立てで英国王室をも魅了する『HENRY POOLE』の『KASHIYAMA』店舗での取り扱いにいたしました。販売をスタートする限定8店舗(札幌店、銀座6丁目店、銀座ベルビア館、虎ノ門ヒルズ店、自由が丘店、名古屋栄店、大阪本町店、天神店)では、経験豊富でノウハウとスキルを持つ専任のスタイルガイドが採寸を担当し、伝統的な仕立てをそのまま、自分のためだけにカスタマイズされたスーツをご購入いただくことができます。

独自のイノベーションとテクノロジーで、高品質はそのままに最短1週間でのお届けを実現する『KASHIYAMA』は、今後も“オーダーメイドの民主化”を目指し、取り扱いアイテムを拡大するなど様々なサービスを提供してまいります。

※1 (株)オンワード樫山の『五大陸』『ONWARD Personal Order』における2019年～2022年(各年3～5月)の売上を分析

“動く。すべての人に、機能美を。”

『UNFILO』22年秋冬からメンズ・ユニセックスラインを本格スタート。

株式会社オンワード樫山は、昨秋スタートした『UNFILO（アンフィーロ）』において、“動く。すべての人に、機能美を。”をブランドパーパスに掲げ、2022年秋冬シーズンから本格的にメンズ・ユニセックスラインをスタートしました。

メンズラインは、世代を問わず、シーンを限定せずに様々な場面で着用できるパンツを軸としたマルチレイヤーウェア15型を展開。ユニセックスラインは、日常のアクティブなシーンに寄り添うスポーツウェアや、機能性を追求した様々なコラボレーションアイテムを展開します。

『UNFILO』は、これまでにオンワードグループの認定工場を活用した高品質・高機能・高コストパフォーマンスを実現したレディスラインからスタートし、シーズンを越えてヒットしている「最愛ジョグパン」や、超軽量ニットシューズ『steppi by UNFILO（ステッピ・バイ・アンフィーロ）』など、独自性の高い商品を創出してきました。



『steppi by UNFILO』が2022年度「グッドデザイン賞」受賞

2022年春に発売した『steppi by UNFILO（ステッピ・バイ・アンフィーロ）』（以下、『steppi』）は、2022年度の「グッドデザイン賞」（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。



さらに、国内外の多様な領域で活躍する「グッドデザイン賞」審査委員の各個人が、お気に入りのデザインを1つだけ選ぶ毎年恒例の企画“私の選ぶ一品”にて、建築家 成瀬友梨氏の選ぶ一品として『steppi』が選出されました。

『steppi』は、当社が約2年をかけて独自開発した環境にも足にも優しいニットパンプスです。特殊加工したニット素材と、超軽量アウトソールを使った新感覚の履き心地が特徴です。使いやすさと安全性を追求しながら、生活シーンに調和するデザインに取り組んだ結果、高く評価されました。

今回の受賞を契機に『steppi』のさらなる販売拡大を図るとともに、ライフシーンに寄り添ったデザイン・商品を展開していきます。

ザ・プロダクトのメイクアイテム

『ザ・プロダクト ナチュラルグロウカラー』から
光きらめく冬の新色が登場！

株式会社KOKOBUYは、2022年10月に、オーガニック&ワイルドクラフトの『product（ザ・プロダクト）』より、アイシャドウにもチークやリップにも使えるマルチカラーバーム新色4色を発売しました。



SKIN CARE

『product』のこだわりである、全成分天然由来で、ブルーカモミール、ラベンダーが肌荒れや乾燥を防ぎ、肌を整えます。

オーガニックのシアバターが肌を保湿し、しっとりとした肌になじみます。

(パラベン、石油系鉱物油、石油系合成界面活性剤、合成香料、合成タール色素、防腐剤、シリコン、以上すべて不使用)

MAKE UP

植物とミネラルによる美しい発色が肌を彩り、輝くようなツヤ感でしっとりと肌になじみます。

手持ちのアイテムに重ねづけして、ツヤやラメ感をプラスするのもおすすめ。

マルチに使えるので、色味にあわせてアイシャドウだけでなく、チークやリップにも。

サステナビリティ（社外からの評価）

「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定

株式会社オンワードホールディングスは、この度「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定されました。

グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellにより構築された「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」は、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス(ESG)の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるように設計されています。また低炭素経済への移行を推進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI経営品質スコアにより改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。

なお、本インデックスは年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)のESG投資のパッシブ運用のベンチマークとして採用されています。



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

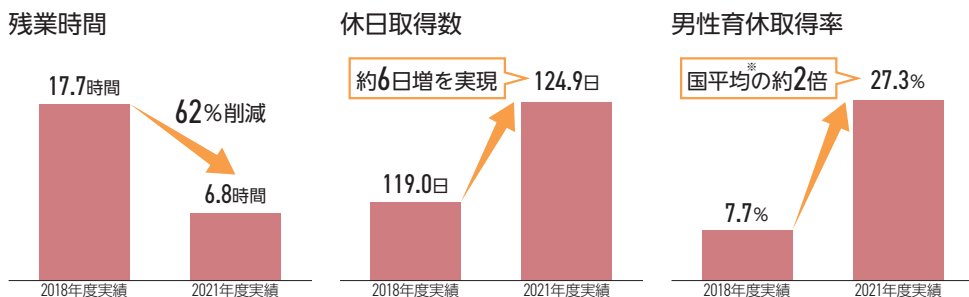
サステナビリティ（働き方デザインの推進）

業務効率化とワーク・ライフバランスの実現により、生産性を上げることを目的に、働き方改革プロジェクト「働き方デザイン」を推進。

株式会社オンワードホールディングスは、既存事業の効率化と未来投資を目的に2019年8月から社員の働き方改革プロジェクト「働き方デザイン」を推進しています。

2021年度はこれまでの取り組みに加え、主に育児休業取得促進のための研修や「仕事と育児の両立支援ガイドブック」の制定等を行い、男性育休取得率は2021年度の国平均の約2倍となる27.3%、平均取得日数が141日という結果を達成することができました。さらに、副業制度の導入や人事制度の改定、処遇の改善を行うなど、社員一人ひとりの働きやすい環境づくりを行ってきました。

今後も、多様で个性的な人財が活躍できる企業への進化を目指し、「働き方デザイン」を推進していきます。



※ 「働き方デザイン」がスタートする前年度(2018年度)と2021年度の比較

※ 「働き方デザイン」対象者(社内勤務者のみ)

※ 2021年度の国平均「男性育休取得率」は、13.97%

■ 「働き方デザイン」とは

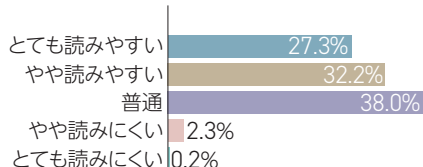
業務効率化とワーク・ライフバランスの実現により生産性をあげることを目的に、社員が自発的に取り組み、働き方を変化させていくという当社の働き方改革プロジェクトです。2019年8月よりスタートし、現在まで週に一度、普段一緒に仕事をするチーム単位で、「自分たちがより良い働き方をするために何をすべきか」を考える会議(通称：カエル会議)を中心に取り組み、業務効率化に伴う残業時間削減や休日取得日数の増加という成果を得られています。仕事とプライベートの相乗効果(ワーク・ライフシナジー)の実現によるビジネス面での成果も出始めています。

株主アンケート結果報告

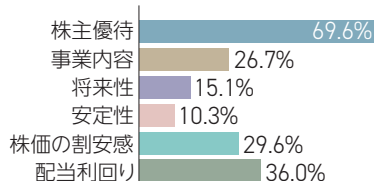
「第75期 株主通信(2021年3月1日～2022年2月28日)」で実施しました「WEBアンケート」にご協力いただきましてありがとうございました。

以下にアンケート結果の概要をご報告するとともに、いただいた主なご意見・ご要望をご紹介します、ご回答いたします。

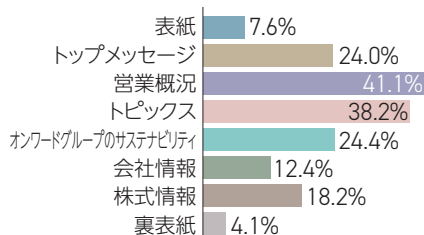
Q1 今回の株主通信について、読みやすさはいかがですか。



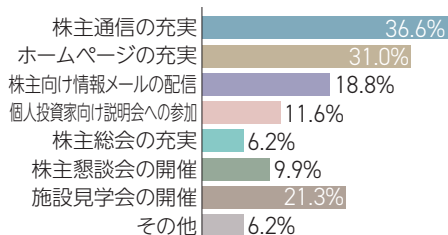
Q2 当社の株主になられた理由は何か。(複数回答可)



Q3 今回の株主通信について、ご興味のある記事を教えてください。(複数回答可)



Q4 当社のIR活動に期待することは何か。(複数回答可)



株主さまからいただいた主なご意見



株主通信でも多くの紙面を割いているが、サステナビリティへの取り組みを充実させて、アパレル業界のけん引役になってほしい。



業績等に比率が分かる円形等のグラフを入れると理解しやすいと思います。



コンパクトで見やすいが、字が小さく見えにくい。



コロナの影響があっても、今迄通りに質を落とさず センスの良い服を追求していただきたいです。

担当者からひとこと

多くの貴重なご意見や励ましのお言葉をいただき、大変ありがとうございます。紙面の関係で、いただいたご意見の一部しか掲載できませんが、今回の株主通信ではいただいたご意見を参考に、業績等のグラフを入れるとともに、文字を大きくし見やすくいたしました。これからも、株主さまお一人おひとりのご期待に少しでも沿えるよう、担当者として精一杯努めてまいります。引き続き、温かいご支援を賜りますようお願いいたします。

会社情報

会社の概要

(2022年8月31日現在)

社名	株式会社 オンワードホールディングス ONWARD HOLDINGS CO., LTD.
設立	1947年9月4日
資本金	300億79百万円
事業内容	純粹持株会社としてのアパレル関連事業、ライフスタイル関連事業を営む傘下関係会社の経営管理およびそれに附帯する業務
従業員数	126名(連結従業員数:6,274名)
所在地	東京都中央区日本橋三丁目10番5号
主要関係会社	〔アパレル関連事業〕 株式会社オンワード樫山 オンワード商事株式会社 株式会社アイランド 株式会社オンワードパーソナルスタイル ティアクラッセ株式会社 ジョゼフLTD. ジェイプレスINC. 恩瓦德時尚貿易（中国）有限公司 〔ライフスタイル関連事業〕 株式会社大和 チャコット株式会社 株式会社クリエイティブヨーコ 株式会社オンワードクリエイティブセンター 株式会社KOKOBUY 株式会社オーアンドケー

取締役および監査役

(2022年8月31日現在)

代表取締役社長	保元道宣
取締役副社長	知識賢治
取締役	佐藤修
取締役	池田大介
取締役	川本明
取締役	小室淑恵
常勤監査役	清家彦三郎
常勤監査役	小野木伸良
監査役	梅津立
監査役	草野満代

- (注)1. 取締役 川本明、小室淑恵の両氏は、社外取締役です。
2. 監査役 梅津立、草野満代の両氏は、社外監査役です。
3. 小室淑恵氏の戸籍上の氏名は石川淑恵です。

株式情報

株式の状況

(2022年8月31日現在)

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	157,921,669株
株主数	39,106名

(注)発行済株式の総数には、自己株式22,288千株が含まれております。

所有者別株式分布状況

金融機関	39,871千株	25.2%
証券会社	4,688千株	3.0%
その他の法人	24,091千株	15.3%
外国法人等	16,505千株	10.4%
個人・その他	72,766千株	46.1%

(注)個人・その他には、自己株式が含まれております。



大株主

(上位10社)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,848千株	10.9%
公益財団法人樫山奨学財団	8,710千株	6.4%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	7,498千株	5.5%
オンワードホールディングス取引先持株会	5,204千株	3.8%
日本生命保険相互会社	4,671千株	3.4%
第一生命保険株式会社	4,200千株	3.0%
株式会社三井住友銀行	2,931千株	2.1%
株式会社三越伊勢丹	2,301千株	1.6%
株式会社ダイドーリミテッド	2,149千株	1.5%
株式会社ヤクルト本社	2,119千株	1.5%

- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は、自己株式22,288千株を保有しております。
3. 持株比率は、自己株式22,288千株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から 翌年2月末日まで	郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日	上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
定時株主総会	毎年5月中	公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	公告掲載URL	https://www.onward-hd.co.jp/
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)		



株式会社 オンワードホールディングス

〒103-8239 東京都中央区日本橋三丁目10番5号

TEL.03-4512-1020



この報告書は環境に配慮した
植物油インキを使用しています。